

高等学校 教科書選定理由（現代の国語）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
143	筑摩	現国	143-901	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	国語・現代の国語
------	------	----------

3. 教科書選定理由

「現代の国語」の教材の軸になるのは、評論文と実用的な文章である。各社とも現代社会で論点となっているテーマについて論じた評論文を教材化している。また、これらの読解教材の他に、言語活動も各社工夫して取り入れている。これらの点で、各社とも優れた教科書であった。

八社の現代の国語の教科書を比較・検討した結果、本校国語科が選んだのは、筑摩書房の『ちくま現代の国語』である。

筑摩書房の『ちくま現代の国語』を選定した理由として、①説明的文章教材に加えて、文学教材も含まれており、教材に幅がある、②教材数が多い、③言語活動が豊富である、という点があげられる。

①については、各章でテーマを設定し、テーマに沿った評論文を中心とした説明的文章教材と言語活動が用意されているのに加えて、文学教材も採録されていることが高く評価された。説明的文章教材のみの場合に比べて、教材に幅がある。この点をいかして、柔軟な授業構想が可能である。②については、30近い教材文が採録されており、本校の授業スピードに対応できる。本校は読解力の高い生徒が多いこともあり、授業スピードは速い。教材数が多いことは、特に現代文分野に関しては欠かせないことである。③については、各教材に複数の言語活動例が示されており、柔軟な授業構想が可能である。また、「実践」として『「質問する力」を育てよう』『メモ・ノートの取り方・活かし方を学ぼう』『議論する力』を育てよう』などが用意されている点も評価される。本校がSSH校として育成を目指している能力と態度であり、国語科でもその育成の一端を担っている。

評論文重要語や読書紹介など、いわゆる資料のページが少ない点は惜しい点である。しかし、上記の点が高く評価された。

以上の点から、「現代の国語」の教科書として、筑摩書房の『ちくま現代の国語』を選定した。

高等学校 教科書選定理由（言語文化）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
117	明治	言文	117-901	新 精選 言語文化

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	国語・言語文化
------	------	---------

3. 教科書選定理由

「言語文化」の教材の軸になるのは、文学的文章と古典である。各社とも、従来も授業で用いられていた文学作品や古典作品、いわゆる安定教材、定番教材を教材としている。具体的には、文学的文章では「羅生門」や「夢十夜」、古文では説話文学や「伊勢物語」「枕草子」「徒然草」「平家物語」の一節など、漢文では故事成語や「十八史略」「唐詩」「論語」の一節などである。また、教材文の読解と併せて、古典の文法や句法の説明を載せる点は、各社とも大きな違いはない。

八社の言語文化の教科書を比較・検討した結果、本校国語科が選んだのは、明治書院の『新精選 言語文化』である。

明治書院の『新 精選 言語文化』を選定した理由として、①詩歌教材が豊富である、②漢文では史伝や思想の教材が多く採録されている、③単元末には言語活動が設定されており単元のまとまりを意識した授業が可能である、④挿絵などが適切に入れられており、学習者の興味をひくと共に授業でも活用可能な点があげられる。

①については、「詩歌編」として独立した編を設けており、教材数も豊富である。万葉集から近現代詩までを見渡しつつ授業が可能である。詩歌教材をここまで重視した教科書は他になかった。②については教材数が豊富であり、人の生き様を感じながら授業を行うことが可能である。特に史伝は高Iには長文であるが、その分読み応えを感じることでできる単元である。史伝教材を四教材載せている教科書は少なかった。③については、書き換えや人物紹介など表現活動につながる活動が多く設けられている。また、それらの活動が級友との交流を行うことが可能な点も魅力的である。特に「『自分の文学史』を作る」は、年度末の学習活動として適切だと思われる。④については、導入時に挿絵を用いた授業を構想できる点が、授業者にとっても学習者にとっても魅力的である。

以上の点から、「言語文化」の教科書として、明治書院の『新 精選 言語文化』を選定した。

高等学校 教科書選定理由（論理国語）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
15	三省堂	論国	703	精選 論理国語

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	国語・論理国語
------	------	---------

3. 教科書選定理由

本校では、高等学校1学年で「現代の国語」と「言語文化」を履修する。ついで、2学年では「論理国語」を履修する。「論理国語」は論理的思考、批判的思考、創造的思考の育成を重視する科目である。また、言語活動として読むことと書くことを重視している。教材文は評論文が中心となる。各教科書会社とも、これまで評価の高かった評論文、大学入試で頻出する筆者の評論文を教材文としている。また、現代社会で論点となっている「言語」、「メディア」、「グローバル社会」などを単元構成の柱とする教科書が多い。読む活動と書く活動も適切に設けられていた。

八社の教科書を検討した結果、本校国語科が「論理国語」の教科書として選んだのは、三省堂の『精選 論理国語』である。また、最後まで候補として残っていたのは、筑摩書房の『論理国語』と大修館書店の『論理国語』である。

筑摩書房の『論理国語』は教材文が充実している。また単元「変貌する時代、変貌する人間」を高く評価する意見があった。一方、評論文のキーワードの説明や背景の説明が若干弱いように感じられた。大修館書店の『論理国語』は教材文の充実とともに、評論文のキーワードの説明や背景の説明なども手厚い。「広がる読書」欄がもう少し手厚ければと惜しく思われた。

三省堂の『精選 論理国語』を選んだ理由として、本校生徒の学習に応えることのできる教材の量と質があげられる。たとえば、単元「【『情報社会』を生きるI】」はコラムも含め四つの評論文からなっている。いずれも本校生徒に読ませたい筆者の文章である。これらの教材文を読むことで、「情報社会」について認識を広げると共に、各教材の比較読みや批判読みを行うなど、思考力を育成する学習活動を展開することができる。資料編では、「メディア・情報」など、現代社会の論点となっている分野に関するキーワードや背景が説明されている。各単元の教材文に加えて、資料編の説明を読むことで、本校生徒が学習するのに十分な教材の量を確保できる。

また、「読書の扉」欄が充実している点もあげられる。「読書の扉」で紹介されている本を各生徒が読むことで、授業から発展して、現代社会についてより課題意識を深めることができる。

以上の理由により、三省堂の『精選 論理国語』を採択するに至った。

高等学校 教科書選定理由（文学国語）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
15	三省堂	文国	702	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	国語・文学国語
------	------	---------

3. 教科書選定理由

本校では、高等学校1学年で「現代の国語」と「言語文化」を履修する。ついで、2学年では「論理国語」を履修する。3学年では「論理国語」の履修を基本としつつ、文系の生徒が「文学国語」を履修する。今回の学習指導要領改訂で新設された「文学国語」は、文学的な文章を読むことを通して、想像する力と創造的思考力を育成し、人間、社会、自然に対するものの見方を豊かにすることを重視している。また、読書の意義と効用について理解を深めることをめざしている。教材文は文学的な文章が中心となる。各教科書会社とも、これまで評価の高かった文学教材をとりあげている。

八社の教科書を検討した結果、本校国語科が「文学国語」の教科書として選んだのは、三省堂の『精選 文学国語』である。

各社とも定番教材をとりあげている点で大きな違いはない。本校の2・3学年の国語授業で取り扱ってきた「山月記」、「こころ」、「舞姫」は各社ともとりあげている。三省堂の『精選 文学国語』はこの定番教材に加え、定番教材以外の教材文が高く評価された。具体的には、村上春樹「夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について」、多和田洋子「捨てない女」、蜂飼耳「詩はいつでも近いところにある」である。また、文学を対象化して考察している「評論」の文章が高く評価された。阿部公彦「小説はどう読めばいいのか」は、文学作品の一つの読み方を提示する書き下ろし教材であり、ぜひ読ませたい教材である。本教科書は、文学作品を中心に、文学を対象化する文章、そして読書の効用を考えさせる文章がバランスよく配置されている。

コラム「文学を読むために」と「広がる読書」も評価された。文学作品を分析するための文学の批評用語を「文学を読むために」として載せている。文学作品を読むために批評用語は必要ないが、感想を書く、あるいは特徴について話しあうためには必要となる。本校生徒に学ばせたい点である。また、「広がる読書」に載せられている本は、高校生の興味関心をひくもの、抵抗なく手を伸ばせるものが載せられている。「読書の扉」の本とあわせて、本校生徒に読んでもらいたい本が載せられている。

以上の理由から、今年度は三省堂の『精選 文学国語』を採択するに至った。

高等学校 教科書選定理由（古典探究）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	古探	717	高等学校 古典探究 古文編
			718	高等学校 古典探究 漢文編

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	国語・古典探究
------	------	---------

3. 教科書選定理由

本校では、高等学校1学年で「現代の国語」と「言語文化」を履修する。ついで、2学年では「古典探究」を履修する。今回の学習指導要領改訂で新設された「古典探究」は、古典を読むことで、先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高めることや、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることを重視する科目である。さらに、生涯にわたって古典に親しむことで、自己を向上させる態度の育成も目標としている。各教科書会社とも、これまで評価の高かった古典作品、いわゆる定番教材、安定教材を教材文として多くとりあげていた。

八社の教科書を検討した結果、本校国語科が「古典探究」の教科書として選んだのは、第一学習社の『高等学校 古典探究 古文編』と『高等学校 古典探究 漢文編』である。また、最後まで候補として残っていたのは、明治書院の『精選 古典探究 古文編』と『精選 古典探究 漢文編』である。

本校は「言語文化」の教科書として明治書院の教科書を採用しており、明治書院の『精選 古典探究』は接続という点で適切である。また、載せられている絵の色は美しく、生徒を惹きつけるだろうと思われる。一方で「後編」の「源氏物語」がもう少し充実していればと思われた。

第一学習社の『精選 古典探究』を選んだ理由として、古文編では「源氏物語」が充実している点あげられる。高校古文の教材として「源氏物語」は最も難しいものと言える。読むためには、総合的な読む力が求められる。そのため、読む力を育成するのに資する。また、「源氏物語」は人間の複雑な心情を描く。人物同士の様々な思いのぶつかり合い、そのぶつかり合いの中で悩む人物が描かれており、人間理解を深めることができる。高校3年生でも「古典探究」を履修するため、読み応えのある「源氏物語」の文章が充実していることは、評価される。漢文編では単元「史記の群像」が評価される。高校漢文としてはいずれも長い教材文である。そのため、分量を読み、漢文に読み慣れることができる。また、「源氏物語」同様、「史記」は苦境を生きる人間、悩む人間を描いている。読む中で、人間理解を深めることができる。

以上の理由により、今年度は第一学習社の『高等学校 古典探究』を採択するに至った。

高等学校 教科書選定理由（地理総合）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
46	帝国	地総	046-901	高等学校 新地理総合

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	地理歴史・地理総合
------	------	-----------

3. 教科書選定理由

学習指導要領，本校の教育目標・教育課程，生徒実態等に鑑み，以下の理由により本書を適切と判断し採択する。

地理総合の目標に沿った内容の選択，構成が行われており，「地理探究」に向けて発展的に学ぶための基礎となる知識・技能も十分に取り上げられている。

- ・第1部では，地図・GISの技能について，特設ページを活用し，実践を交えながら段階的に習得できるよう工夫が施されている。
- ・第2部では，国際理解と国際協力について，世界諸地域を「自然」「社会」「経済」「開発」など様々な視点に分けて学習を構成し，追究事例で学びを深めることが可能で，かつ学校の特性に応じたカリキュラムマネジメントを可能にしている。
- ・第3部では，学習事項の確認や，主体的に探究学習を行う特設ページなどの工夫がなされている。SDGs（持続可能な開発目標）に対応した課題を幅広く扱い，問題解決を思考する機会を設けることができる。

高等学校 教科書選定理由（地理探究）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
46	帝国	地探	702	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	地理歴史・地理探究
------	------	-----------

3. 教科書選定理由

学習指導要領，本校の教育目標・教育課程，生徒実態等に鑑み，以下の理由により本書を適切と判断し採択する。

帝国書院「新詳地理探究」

観点	考察の結果
学習指導要領との関連	国土認識を高め，社会の形成に関与できるように内容が構成されている。発展的な内容を扱うトピックやコラム，地理的スキルに習熟するページが数多く設けられており，日本や世界の一員として問題解決を志向した学習を行うための教材が充実している。
学習との関連	地形と気候に関する知識や資料が充実しており，地殻変動や大気の大循環などを地球レベルで，そのメカニズムを理解しやすい内容構成になっている。系統地理的分野においては重要な統計資料，およびそれに基づく主題図が数多く適切に配置されており，生徒が統計資料や主題図に基づき論理的に思考・判断する機会を持つことができる。また，地誌分野では，その国や地域に関する年表が示されているため，地域の形成や変容を理解しやすくなっている。
他教材との関連	教科書の本文，索引，主題図・写真資料および同社の地図帳が有機的に結びついており，また，索引，脚注，用語解説欄が適切に施されており，生徒が主体的に学習を進めるテキストとしても優れた効果を発揮すると考えられる。

高等学校 教科書選定理由（歴史総合）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
81	山川	歴総	081-902	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える 改訂版

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	地理歴史・歴史総合
------	------	-----------

3. 教科書選定理由

「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」（山川出版社）を、本校の教育目標・教育課程、生徒の実態を踏まえ、来年度使用教科書に選定した。

「現代の歴史総合 みる・読みとく・考える」（山川出版社）が、他の教科書と比較して優れている点は、次の通りである。

1. 各テーマが4ページまたは6ページから構成されており、本文が適切な文章量で簡潔にまとめられている。
2. 本文の随所に、日本と世界が相互に関連していることを意識できるような記述がみられる。
3. 導入からまとめまでの流れが分かりやすくレイアウトされ、スムーズに授業を展開できるよう工夫されている。
4. 写真・絵画・ポスター・風刺画など直観的に読みとけるバリエーション豊かな資料が多く掲載されている。
5. 内容理解を促す資料として、文字資料・グラフ・新聞記事なども準備されている。
6. 充実した地図や、日本と世界を比較できる年表もテーマごとに多数掲載されている。
7. テーマの目標となる大きな問いから各資料に付した小さな問いまで、様々な学習活動に沿った問いが設定されている。
8. 問いが、適宜選択しグループで取り組んだり、生徒同士で意見交換することを想定しており、主体的・対話的で深い学びが目指されている。
9. 温暖化や天然資源の資料等が掲載されており、地理総合とのスムーズな連携が意識されている。
10. 学習指導要領にある観点（「開発・保全」「対立・強調」「自由・制限」等）から、過去の人々が課題に対してどのような取り組みをおこなったかを資料を読みとくしながら振り返り、現代の諸課題について自ら課題を設定して考えるような工夫がみられる。

高等学校 教科書選定理由（日本史探究）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
7	実教	日探	702	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	地理歴史・日本史探究
------	------	------------

3. 教科書選定理由

「日本史探究」（実教出版）を、本校の教育目標・教育課程、生徒実態等を鑑み、来年度使用教科書に選定した。

「日本史探究」（実教出版）が他の教科書と比較して優れている点は、次の通りである。

1. 単元全体で何を学ぶのか確認する、冒頭の問いが明確である。また、巻頭で「問い」や「仮説」の作り方を解説しており、主体的な学びを推進する工夫がなされている。
2. 詳細な記述と側注について、歴史の流れや因果関係が丁寧に説明されている。
3. 写真・絵画資料・文字資料・地図が600点以上掲載されており、資料が豊富である。
4. 各単元の最後に、本文で学んだことを活用して考察し、表現するまとめの問いが掲載されている。
5. 「日本と世界の結びつき」や「日本の様々な地域」に注目することで、多面的・多角的な考察に到達できるよう工夫がなされている。
6. 歴史的思考を深めていく工夫が見られるとともに、グループワークにも対応できるようになっている。

高等学校 教科書選定理由（世界史探究）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
7	実教	世探	702	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	地理歴史・世界史探究
------	------	------------

3. 教科書選定理由

「世界史探究」（実教出版）を、本校の教育目標・教育課程、生徒の実態を踏まえ、来年度使用教科書に選定した。

「世界史探究」（実教出版）が、他の教科書と比較して優れている点は、次の通りである。

1. 単元全体で何を学ぶのか確認する、冒頭の問いが明確である。
2. 詳細な記述と注について、歴史の流れや因果関係が丁寧に説明されている。
3. 写真・絵画資料が500枚以上掲載されており、資料が豊富である。
4. 地域別のインデックスが付加されており、地域ごとの歴史をつなげて通史的に学ぶことができる。
5. 重要な世界史用語が丁寧に解説されている。
6. 各単元の最後に、本文で学んだことを活用して考察し、表現するまとめの問いが掲載されている。
7. 段階的に考察を深めるような工夫が見られ、グループワークにも対応できるようになっている。
8. 通史を学んだあとに同時代史の視点から知識を整理できるようにテーマが設定されている。
9. 近年注目されているグローバルヒストリーの視点での記述がみられる。
10. 比較、結びつき、社会、ジェンダー、世界と日本、世界と現在という6つの視点から世界史を読み解く工夫が見られる。

高等学校 教科書選定理由（地図）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
46	帝国	地図	046-901	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2・3学年	地理歴史・地理総合、地理探究
------	--------	----------------

3. 教科書選定理由

学習指導要領，本校の教育目標・教育課程，生徒実態等に鑑み，以下の理由により本書を適切と判断し採択する。

帝国書院「新詳高等地図」

観点	考察の結果
学習指導要領との関連	世界諸地域を多用な視点から深く学習するための内容構成となっている。世界諸地域の地域区分には新たな地域区分が加わり一層多様になり，都市の市街地図も充実したものとなっている。それにより，ローカル，ナショナル，グローバルなど，様々な空間や社会のスケールを意識して現代の世界諸地域の学習を行うことが可能になっている。
学習との関連	主題図が充実し，とくに地理学の成果を活用した重要な地図が多く，地理総合の学習に十分な内容がそろい，深い学習が可能である。また地理探究の教科書とも関連付けが十分になされており，高校Ⅲ年からの地理探究の学習において効果を発揮すると考える。
他教材との関連	同社の教科書と有機的に結びついており，生徒が主体的に学習を進めるテキストとしても効果を発揮すると考えられる。

上記の考察を踏まえ，採択教科書との関連において，本書の採択を判断した。

高等学校 教科書選定理由（公共）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	公共	711	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	公民・公共
------	------	-------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程、以下の評価規準等に鑑み、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

- ① 学習指導要領の新科目の理念を反映した構成になっていること。
- ② 基本的な知識・概念の理解と定着を図ることができる内容を満たしていること。
- ③ 資料の選択、グラフの配置等が的確で必要十分であること。わかりやすくレイアウトされていること。
- ④ 課題を探究する活動や議論の中で生徒が主体的に活用して知識を獲得し問題を整理するのに適していること。

- ・ 公共のねらいを意識したテーマ学習を想定した構成になっていること。
- ・ 内容項目や概念ごとに短いまとまりを積み重ねる構成になっており、テーマ学習での主体的な活用がしやすい。記述も平易で生徒の主体的な活用に向いている。
- ・ 情報量としてはより多い他社もあるが、旧来の「現代社会」の構成を維持しており「公共」固有の狙いの達成には不向きなものであること。
- ・ 他社に比べ視覚的に整理された関心を高めるレイアウトになっていること。

高等学校 教科書選定理由（倫理）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
2	東書	倫理	701	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	公民・倫理
------	------	-------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程、以下の評価規準等に鑑み、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

判断基準項目

- ① 基本的な知識・概念の理解と定着を図ることができる内容を満たしていること。
- ② 抽象的事項を説明するのに、正確さと分かりやすさという条件を、適切に満たしていること。
- ③ 発展的な授業内容やアクティブ・ラーニングの実施、教育実習、進学指導等をふまえ、新課程における探究科目としての倫理の教科書として、本校で生徒に求める予復習・自学自習での活用にも適していること。

- ・ 情報量が過不足無く十分であるとともに説明が平易で、生徒自身による自学自習にも効果的である。
- ・ 情報量や原典資料の掲載量としてはより多い他社もあるが、抽象的事項であるため資料集や原典資料等との併用を想定した場合には教科書は理解しやすい表現であることが望ましく、自学の際も使いやすいため、本校授業で目指す発展的な授業内容やアクティブ・ラーニングの実施、教育実習、進学指導等に適した教科書である。
- ・ 他社に比べ判型がやや大きくゆとりがあり用語解説や図版が同ページに収められ視覚的に整理されたレイアウトになっている。

高等学校 教科書選定理由（政治・経済）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
2	東書	政経	701	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	公民 政治・経済
------	------	----------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程、以下の評価規準等に鑑み、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

- ① 基本的な知識・概念の理解と定着を図ることができる内容を満たしていること。
- ② 資料の選択、グラフの配置等が的確で必要十分であること。わかりやすくレイアウトされていること。
- ③ 発展的な授業内容やアクティブ・ラーニングの実施、教育実習、進学指導等をふまえ、新課程における探究科目としての政治・経済の教科書として、本校で生徒に求める予復習・自学自習での活用にも適していること。

- ・ 情報量が過不足無く十分であるとともに説明が平易で、生徒自身による自学自習にも効果的である。
- ・ 情報量としてはより多い他社もあるが、未整理で自学では使いにくく探究形式では特定の課題に従って用いる想定書き方になっているのに対して、説明が比較的平易で生徒が自分で読んで理解をすすめる予復習をすることが可能な表現になっているため、本校授業で目指す一歩踏み込んだ内容の授業を行う場合に生徒に求めたい自学による予復習にも適した教科書である。
- ・ 他社に比べ用語解説が同ページに収められグラフ等も配置されているなど、視覚的に整理されたレイアウトになっている。

高等学校 教科書選定理由（数学Ⅰ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
104	数研	数Ⅰ	104-901	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	数学・数学Ⅰ
------	------	--------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標や進路選択などの生徒実態に照らして検討した結果、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

「第1章. 数と式」、「第2章. 集合と命題」、「第3章. 2次関数」、「第4章. 図形と計量」、「第5章. データの分析」の5つの章で構成されており、以下の内容に特色がある。

1. 内容の選択・程度が適当である。

- ・学習指導要領に示された内容が不足なく取り上げられ、学習指導要領の範囲外の内容について、必要なものが必要な場所に扱われており、より深い内容も学べるようになっている。
- ・課題学習は、数学に対する理解が深まり、応用力も付く題材が扱われている。

2. 「確かな記述」と「明解な解説」により確実な知識・技能が習得できる。

- ・基本的な事項は「具体例→一般論」の展開になっている。
- ・定理や公式の証明が、省略せずにきちんと記述しており、論理的に考える力を養えるようになっている。

3. 問題解決のための思考力・判断力・表現力の育成にも配慮されている。

- ・本文の内容を別の方法で考えてみる、理由を説明するなど、本質的な理解に繋がる問いを適切な場面に「深める」として設定されている。授業で取り上げることで、生徒同士が考えたことを伝え合うような活動にも繋げられる。
- ・主な数学用語に関係するいくつかの話題や用語の英語表現が巻末に掲載されており、数学をより深く調べたいときの利用や、表現力の向上が期待できる。

4. 生徒が自ら学びを深めるための工夫がある。

- ・扉に目標やチェック問題があり、項目始めに学習内容の概要を掲載するなど、生徒が目標をもって自ら学習に取り組めるようにしている。
- ・本書の内容に関連したデジタルコンテンツにつながるQRコードを随所に配置し、グラフの操作、追加問題や解説動画など、生徒が自分で学習を深めることができるようにしている。また、字体は読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを用い、またカラーユニバーサルデザインにも配慮されているため、多くの人に見やすい紙面となっている。

以上のように、本書は基礎・基本と応用・発展のつながりとバランスに優れており、問題の分量や配列、順序などに関しても本校数学科の指導目標に沿うものである。

高等学校 教科書選定理由（数学Ⅱ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
104	数研	数Ⅱ	709	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	数学・数学Ⅱ
------	------	--------

3. 教科書選定の理由

本校の教育目標や進路選択などの生徒実態に照らして検討した結果、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

「1. 式と証明」「2. 複素数と方程式」「3. 図形と方程式」「4. 三角関数」「5. 指数関数と対数関数」「6. 微分法と積分法」の6つの章で構成されており、以下の内容に特色がある。

1. 内容の選択・程度が適当である。

- ・学習指導要領に示された内容が不足なく取り上げられ、学習指導要領の範囲外の内容について、必要なものが必要な場所に扱われており、より深い内容も学べるようになっている。
- ・課題学習は、数学に対する理解が深まり、応用力も付く題材が扱われている。

2. 「確かな記述」と「明解な解説」により確実な知識・技能が習得できる。

- ・基本的な事項は「具体例→一般論」の展開になっている。
- ・定理や公式の証明が、省略せずにきちんと記述しており、論理的に考える力を養えるようになっている。

3. 問題解決のための思考力・判断力・表現力の育成にも配慮されている。

- ・本文の内容を別の方法で考えてみる、理由を説明するなど、本質的な理解に繋がる問いを適切な場面に「深める」として設定されている。授業で取り上げることで、生徒同士が考えたことを伝え合うような活動にも繋げられる。
- ・主な数学用語に関係するいくつかの話題や用語の英語表現が巻末に掲載されており、数学をより深く調べたいときの利用や、表現力の向上が期待できる。

4. 生徒が自ら学びを深めるための工夫がある。

- ・章扉に目標やチェック問題があり、項目始めに学習内容の概要を掲載するなど、生徒が目標をもって自ら学習に取り組めるようにしている。
 - ・巻末の総合問題では、日常の事象や社会の事象に関する問題も扱われている。
- また、字体は読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを用い、またカラーユニバーサルデザインにも配慮されているため、多くの人に見やすい紙面となっている。

以上のように、本書は基礎・基本と応用・発展のつながりとバランスに優れており、問題の分量や配列、順序などに関しても本校数学科の指導目標に沿うものである。

高等学校 教科書選定理由（数学Ⅲ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
104	数研	数Ⅲ	708	数学Ⅲ

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	数学・数学Ⅲ
------	------	--------

3. 教科書選定の理由

本校の教育目標や進路選択などの生徒実態に照らして検討した結果、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

「1. 関数」「2. 極限」「3. 微分法」「4. 微分法の応用」「5. 積分法」「6. 積分法の応用」の6つの章で構成されており、以下の内容に特色がある。

1. 内容の選択・程度が適当である。

- ・学習指導要領に示された内容が不足なく取り上げられ、学習指導要領の範囲外の内容について、必要なものが必要な場所に扱われており、より深い内容も学べるようになっている。
- ・課題学習は、数学に対する理解が深まり、応用力も付く題材が扱われている。

2. 「確かな記述」と「明解な解説」により確実な知識・技能が習得できる。

- ・基本的な事項は「具体例→一般論」の展開になっている。
- ・定理や公式の証明が、省略せずにきちんと記述しており、論理的に考える力を養えるようになっている。

3. 問題解決のための思考力・判断力・表現力の育成にも配慮されている。

- ・本文の内容を別の方法で考えてみる、理由を説明するなど、本質的な理解に繋がる問いを適切な場面に「深める」として設定されている。授業で取り上げることで、生徒同士が考えたことを伝え合うような活動にも繋げられる。
- ・主な数学用語に関係するいくつかの話題や用語の英語表現が巻末に掲載されており、数学をより深く調べたいときの利用や、表現力の向上が期待できる。

4. 生徒が自ら学びを深めるための工夫がある。

- ・章扉に目標やチェック問題があり、項目始めに学習内容の概要を掲載するなど、生徒が目標をもって自ら学習に取り組めるようにしている。
 - ・巻末の総合問題では、日常の事象や社会の事象に関する問題も扱われている。
- また、字体は読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを用い、またカラーユニバーサルデザインにも配慮されているため、多くの人に見やすい紙面となっている。

以上のように、本書は基礎・基本と応用・発展のつながりとバランスに優れており、問題の分量や配列、順序などに関しても本校数学科の指導目標に沿うものである

高等学校 教科書選定理由（数学A）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
104	数研	数A	104-901	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	数学・数学A
------	------	--------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標や進路選択などの生徒実態に照らして検討した結果、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

「第1章. 場合の数と確率」、「第2章. 図形の性質」、「第3章. 数学と人間の活動」の3つの章で構成されており、以下の内容に特色がある。

1. 内容の選択・程度が適当である。

- ・学習指導要領に示された内容が不足なく取り上げられ、学習指導要領の範囲外の内容について、必要なものが必要な場所に扱われており、より深い内容も学べるようになっている。
- ・課題学習は、数学に対する理解が深まり、応用力も付く題材が扱われている。

2. 「確かな記述」と「明解な解説」により確実な知識・技能が習得できる。

- ・基本的な事項は「具体例→一般論」の展開になっている。
- ・定理や公式の証明が、省略せずにきちんと記述しており、論理的に考える力を養えるようになっている。

3. 問題解決のための思考力・判断力・表現力の育成にも配慮されている。

- ・本文の内容を別の方法で考えてみる、理由を説明するなど、本質的な理解に繋がる問いを適切な場面に「深める」として設定されている。授業で取り上げることで、生徒同士が考えたことを伝え合うような活動にも繋げられる。
- ・主な数学用語に関係するいくつかの話題や用語の英語表現が巻末に掲載されており、数学をより深く調べたいときの利用や、表現力の向上が期待できる。

4. 生徒が自ら学びを深めるための工夫がある。

- ・扉に目標やチェック問題があり、項目始めに学習内容の概要を掲載するなど、生徒が目標をもって自ら学習に取り組めるようにしている。
- ・本書の内容に関連したデジタルコンテンツにつながるQRコードを随所に配置し、動画やグラフの操作、追加問題など、生徒が自分で学習を深めることができるようにしている。また、字体は読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントを用い、またカラーユニバーサルデザインにも配慮されているため、多くの人に見やすい紙面となっている。

以上のように、本書は基礎・基本と応用・発展のつながりとバランスに優れており、問題の分量や配列、順序などに関しても本校数学科の指導目標に沿うものである。

高等学校 教科書選定理由（数学B）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
104	数研	数B	710	数学B

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	数学・数学B
------	------	--------

3. 教科書選定の理由

本校の教育目標や進路選択などの生徒実態に照らして検討した結果、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

「1. 数列」「2. 統計的な推測」「3. 数学と社会生活」の3つの章で構成されており、以下の内容に特色がある。

1. 内容の選択・程度が適当である。

- ・学習指導要領に示された内容が不足なく取り上げられ、学習指導要領の範囲外の内容について、必要なものが必要な場所に扱われており、より深い内容も学べるようになっている。
- ・課題学習は、数学に対する理解が深まり、応用力も付く題材が扱われている。

2. 「確かな記述」と「明解な解説」により確実な知識・技能が習得できる。

- ・基本的な事項は「具体例→一般論」の展開になっている。
- ・定理や公式の証明が、省略せずにきちんと記述してあり、論理的に考える力を養えるようになっている。

3. 問題解決のための思考力・判断力・表現力の育成にも配慮されている。

- ・本文の内容を別の方法で考えてみる、理由を説明するなど、本質的な理解に繋がる問いを適切な場面に「深める」として設定されている。授業で取り上げることで、生徒同士が考えたことを伝え合うような活動にも繋げられる。
- ・主な数学用語に関係するいくつかの話題や用語の英語表現が巻末に掲載されており、数学をより深く調べたいときの利用や、表現力の向上が期待できる。

4. 生徒が自ら学びを深めるための工夫がある。

- ・章扉に目標やチェック問題があり、項目始めに学習内容の概要を掲載するなど、生徒が目標をもって自ら学習に取り組めるようにしている。
 - ・巻末の総合問題では、日常の事象や社会の事象に関する問題も扱われている。
- また、字体は読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを用い、またカラーユニバーサルデザインにも配慮されているため、多くの人に見やすい紙面となっている。

以上のように、本書は基礎・基本と応用・発展のつながりとバランスに優れており、問題の分量や配列、順序などに関しても本校数学科の指導目標に沿うものである。

高等学校 教科書選定理由（数学C）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
104	数研	数C	708	数学C

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	数学・数学C
------	------	--------

3. 教科書選定の理由

本校の教育目標や進路選択などの生徒実態に照らして検討した結果、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

「1. 平面上のベクトル」「2. 空間のベクトル」「3. 複素数平面」「4. 式と曲線」
「5. 数学的な表現の工夫」の5つの章で構成されており、以下の内容に特色がある。

1. 内容の選択・程度が適当である。

- ・学習指導要領に示された内容が不足なく取り上げられ、学習指導要領の範囲外の内容について、必要なものが必要な場所に扱われており、より深い内容も学べるようになっている。
- ・課題学習は、数学に対する理解が深まり、応用力も付く題材が扱われている。

2. 「確かな記述」と「明解な解説」により確実な知識・技能が習得できる。

- ・基本的な事項は「具体例→一般論」の展開になっている。
- ・定理や公式の証明が、省略せずにきちんと記述しており、論理的に考える力を養えるようになっている。

3. 問題解決のための思考力・判断力・表現力の育成にも配慮されている。

- ・本文の内容を別の方法で考えてみる、理由を説明するなど、本質的な理解に繋がる問いを適切な場面に「深める」として設定されている。授業で取り上げることで、生徒同士が考えたことを伝え合うような活動にも繋げられる。
- ・主な数学用語に関係するいくつかの話題や用語の英語表現が巻末に掲載されており、数学をより深く調べたいときの利用や、表現力の向上が期待できる。

4. 生徒が自ら学びを深めるための工夫がある。

- ・章扉に目標やチェック問題があり、項目始めに学習内容の概要を掲載するなど、生徒が目標をもって自ら学習に取り組めるようにしている。
 - ・巻末の総合問題では、日常の事象や社会の事象に関する問題も扱われている。
- また、字体は読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを用い、またカラーユニバーサルデザインにも配慮されているため、多くの人に見やすい紙面となっている。

以上のように、本書は基礎・基本と応用・発展のつながりとバランスに優れており、問題の分量や配列、順序などに関しても本校数学科の指導目標に沿うものである

高等学校 教科書選定理由（物理基礎）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	物基	183-901	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	理科・物理基礎
------	------	---------

3. 教科書選定理由

<p>本校の教育目標、教育課程、生徒実態等に鑑み、次の理由により本書を適当と判断し採択する。</p> <p>① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着を図ることができる</p> <p>運動とエネルギー、熱、波動、電気の4章から構成されている。各章とも、図や写真、グラフやデータが過不足なく取り入れられており、本文の内容が理解しやすい。要所に「特講」としてまとめがあり、生徒が活用しやすい。また、日常生活における身近な物理現象の話題も適宜取り上げており、物理と日常生活を関連付けて理解できるよう配慮されている。演習問題については、例題では生徒が間違いやすい点が、分かりやすく説明されており、章末問題では大学入試にもよく出題されるような内容も取り上げられている。すべての問題の解答・解説が二次元コードを読み込むことで確認でき、生徒の理解度に応じて自主的、自発的に取り組めるような構成になっている。</p> <p>② 観察・実験、探究活動が充実している</p> <p>各項目のはじめが問いかけからはじまり、探究の過程を重視した構成になっている。また実験については、「ぼけっとラボ」、「実験」、「探究」の3段階に分け、法則や原理の理解を深めるための観察・実験が十分な量で適宜配置されている。また、難易度が適切であり、生徒の観察・実験の技能、また思考力・判断力・表現力を養うことができる。</p> <p>③ 発展的な学習内容が充実しており、科目「物理」の学習と接続できる</p> <p>科目「物理」への接続を意識し、物理基礎の学習内容をさらに深化させる事項や科目「物理」で学習する内容を「発展」として丁寧に取り上げており、生徒の知的好奇心を高めることができる構成となっている。</p> <p>④ B5変型判により紙面が見やすい</p> <p>紙面が広いので圧迫感がなく、生徒が利用しやすいレイアウトになっている。各項目が左ページから始まるように構成されており、使いやすい。</p>
--

高等学校 教科書選定理由（物理）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	物理	709	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	理科・物理
------	------	-------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標、教育課程、生徒実態等に鑑み、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着を図ることができる

運動とエネルギー、波動、電気と磁気、原子の4章から構成されている。各章とも、図や写真、グラフやデータが過不足なく取り入れられており、本文の内容が理解しやすい。要所に「特講」としてまとめがあり、生徒が活用しやすい。また、日常生活における身近な物理現象の話題も適宜取り上げており、物理と日常生活を関連付けて理解できるよう配慮されている。演習問題については、例題では生徒が間違いやすい点が、分かりやすく説明されており、章末問題では大学入試にもよく出題されるような内容も取り上げられている。類題の解答が二次元コードを読み込むことで確認でき、生徒の理解度に応じて自主的、自発的に取り組めるような構成になっている。

② 観察・実験、探究活動が充実している

各項目のはじめが問いかけからはじまり、探究の過程を重視した構成になっている。また実験については、「ぼけっとラボ」、「実験」、「探究」の3段階に分け、法則や原理の理解を深めるための観察・実験が十分な量で適宜配置されている。また、難易度が適切であり、生徒の観察・実験の技能、また思考力・判断力・表現力を養うことができる。

③ 発展的な学習内容が充実している

「Topic」や「Plus」、「発展」で発展的な内容を取り扱っており、生徒の知的好奇心を高めたり、理解を深めたりすることができる構成となっている。

④ B5変型判により紙面が見やすい

紙面が広いため圧迫感がなく、生徒が利用しやすいレイアウトになっている。各項目が左ページから始まるように構成されており使いやすい。

高等学校 教科書選定理由（化学基礎）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	化基	183-901	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	理科・化学基礎
------	------	---------

3. 教科書選定理由

<p>本校の教育目標、教育課程、生徒実態等に鑑み、次の理由により本書を適当と判断し採択する。</p> <p>① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着を図ることができる。</p> <p>化学と人間生活、物質の構成、物質の変化、化学が拓く世界の4つの章から構成されている。各章とも、図やデータが多く取り入れられており、本文の内容が理解しやすい。化学が拓く世界では、食品や日用品などの写真を多用し日常生活における身近な化学の話題を取り上げることで、生徒が化学と日常生活を関連付けて理解できるよう配慮されている。また、演習問題については、反復的に学習することで計算力をつけるための「ドリル」があるほか、大学入試によく出題されるような内容が「例題」として詳しく解説され、さらに発展的内容に関する問題も掲載されており、生徒の理解度に応じて自主的、自発的に取り組めるような構成になっている。</p> <p>② 観察・実験が充実している。</p> <p>本文記述内容を理解または経験させるための観察・実験が十分な量で適宜配置されており、実験操作などの記述も分かりやすい構成となっている。また、実験テーマの設定数、難易度が適切であり、生徒の観察・実験の技能、科学的な思考力・判断力・表現力を養うことができる。</p> <p>③ 発展的な学習内容が充実しており、科目「化学」の学習と接続できる</p> <p>科目「化学」への接続を意識し、化学基礎の学習内容をさらに深化させる事項を取り上げているほか、科目「化学」で学習する内容も多く取り上げており、生徒の知的好奇心を高めることができる構成となっている。</p> <p>④ 英語表記が充実している。</p> <p>本文中に英語による専門用語が記されている。課題研究を行う際に先行研究を読んだり、英語要約を作成したりするときに参考にすることが期待される。</p>
--

高等学校 教科書選定理由（化学）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	化学	708	高等学校 化学

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2・3学年	理科・化学
------	--------	-------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標，教育課程，生徒実態等に鑑み，次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着を図ることができる

物質の状態，物質の変化と平衡，無機物質，有機化合物，高分子化合物の5つの化学的内容を扱う章と，化学の築く未来という発展的，教科横断的なテーマを扱う終章から構成されている。

各章とも，図やデータが多く取り入れられ，豊富な内容がわかりやすく整理され，記載されている。ページの下部には脚注の欄が設けられ，本文中で扱った内容について，化学的な説明が付加されたり，身のまわりの事象や既習内容と関連付けた具体的な説明がなされたりするなど，概念や定義の定着を図る工夫がなされているとともに，深い理解を促す囲み記事や日常生活と関連の深い記事なども十分に盛り込まれており，生徒が予習，復習に活用しやすい紙面構成となっている。

② 観察・実験が充実している

本文の記述内容に関連した観察・実験が適切に配置されており，理解および実感を深化させる工夫がみられる。実験操作に関する記述も丁寧で分かりやすく，学習の進行に伴って探究的内容に触れたり，学習そのものが探究的内容を内包するような構成となっており，生徒の実態に応じた観察・実験の技能，科学的な思考力・判断力・表現力を養うことができる。これは授業において日常的に観察・実験や探究活動を行う本校化学の授業実態に合致する。

③ 発展的な学習内容が充実しており，高次の学び，理解への橋渡しができる

“Plus α ” “発展” の項目が多く設けられており，「酵素と活性化エネルギー」，「不斉合成」，「ベンゼンの構造と安定性」など，大学入試だけでなく，その先の研究や現代の化学的トピックをも見据えた発展的内容も充実しており，ほとんどの生徒が大学に進学し，学習を続ける本校生徒の実態にあっている。

④ 英語表記が充実している

重要語句は太字で示されると同時に，英語による専門用語が記されている。発展課題や探究的な課題に取り組む際に，国内だけでなく海外の論文や試料を検索するために有用であると同時に，英語を用いた課題への解答や文章の要約を作成するときに参考にすることが期待される。

高等学校 教科書選定理由（生物基礎）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	生基	183-901	高等学校 改訂 生物基礎

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	理科・生物基礎
------	------	---------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程、生徒実態、科学的に探究する能力と態度の育成に鑑み、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着において優れた構成である

内容は「生物の特徴」、「ヒトの体内環境の維持」、「生物の多様性と生態系」の流れで構成されている。各章で理解すべき学習内容や学習のつながりが極めて明確である。また、生物と生物現象に関して、共通性と多様性という視点からとらえ、マイクロレベルからマクロレベルまで幅広い領域を理解できるよう構成されている。

本文では図表や写真と文章をバランス良く組み合わせ、ストーリー性をもった学習事項の解説が行われている。また、一部の実験や図では、学習内容を補足する動画を携帯端末やパソコンで視聴できるようになっており、興味・関心をもたせ、学習意欲を高める工夫がなされている。

② 科学的な探究の過程を通じて学習する構成となっている

巻頭に、「探究的な学習の進め方」が示されており、科学的な探究の過程や、各過程において主に必要とされる能力を理解した上で、学習が進められるような構成になっている。普段の学習から探究的に進めることができるよう、本文と融合して「資料学習」「実験・観察・調査」「演習」が設けられており、理科の見方・考え方を働かせながら主体的に学習を進め、実験観察の技能、科学的な思考力・判断力・表現力を養うことが可能となっている。

③ 発展的な学習内容が充実しており、科目「生物」の学習と接続できる

「発展」として最新の科学研究の内容に基づいた発展的な学習内容が多く記載されており、学習内容の理解をより深化させたり、知的好奇心を高めたりすることができる。また、科目「生物」の接続を意識した内容が多い。

④ 専門用語の一部が英語で表記されている

本文中に英語による専門用語が記されており、課題研究を行う際に先行研究を読んだり、英語要約を作成したりするときに参考にすることが期待される。

高等学校 教科書選定理由（生物）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	生物	705	高等学校 生物

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2・3学年	理科・生物
------	--------	-------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程、生徒実態、科学的に探究する能力と態度の育成に鑑み、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着において優れた構成である

内容は生物の進化と系統、生命現象と物質、遺伝情報の発現と発生、生物の環境応答、生態と環境の流れで構成されており、進化の視点を重視しながら、マイクロレベルからマクロレベルまでの幅広い領域について体系立てて理解できるよう配慮されている。また、生物基礎に引き続き、生物や生命現象には共通性と多様性がみられること、非生物的要因と生物的要因が関連していることに着目しながら学習が進められるよう構成されている。本文では理解しやすい図表と分かりやすい文章をバランス良く組み合わせ、ストーリー性をもって丁寧な解説を行うとともに、電子顕微鏡画像や動・植物の画像などの実物の鮮明な写真を多く掲載し、生命現象のイメージを適切にもつことができる。また、重要事項を図表で「整理」としてまとめており、生命現象の見方・考え方を習得させる上で有効である。

② 科学的な探究の過程を通じて学習する構成が充実している

巻頭に「探究的な学習の進め方」を設け、科学的な探究の過程や、各過程で主に必要とされる能力を理解してから学習が進められるよう配慮されている。また、普段の学習も探究的に進めることができるよう、「資料」「観察」「実験」「調査」が設けられている。「観察」や「実験」では、材料の入手しやすさを含め、基本的な探究活動に適しているものが多く設定されており、観察実験の技能、科学的な思考力・判断力・表現力を養うことができる。

③ 発展的な学習内容が充実しており、科目「生物基礎」の学習と接続できる

発展的な学習内容が適宜導入されており、学習内容の理解を深化させたり、知的好奇心を高めたりすることができる。また、科目「生物基礎」との接続を意識した内容が多い。

④ 専門用語の一部が英語で表記されている

脚注に英語による専門用語が記されており、課題研究を行う際に先行研究を読んだり、英文による要約を作成したりするときの参考になることが期待される。

高等学校 教科書選定理由（地学基礎）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
61	啓林館	地基	061-901	

高等学校 地学基礎 改訂版

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	理科・地学基礎
------	------	---------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程、生徒実態、科学的に探究する資質・能力の育成等に鑑み、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着において優れた構成である

空間認識を主とした内容、時間認識を主とした内容、地球環境と人間生活・社会の関わりの内容の順で構成されており、理科の見方・考え方を働かせながら様々な関連やつながりを意識しながら地球システム概念を育成する構成になっている。本文は、自然事象の科学的な理解を促す丁寧な記述とともに、学習の視点や学習活動が随所に配置され、生徒の思考に沿って探究的な学習が可能な記述になっており、振り返りによる理解の定着場面もある。写真・図は鮮明で、個別最適化を図りながら科学的な思考力を育むデジタルコンテンツが適切に設定されている。

② 科学的な探究の過程を通じて学習する構成が充実している

探究の進め方として、課題研究を持続的に進める上で大切にしたい過程（議論、新たな課題の発見）が示されている。観察実験等は、授業で実施可能な数が適切に設定され、「探究実習」、「実習」、「やってみよう」の3種類が用意されており、身に付けさせたい資質・能力の重点のちがいに对应させて効率的・効果的に進めることができる。また、地球環境に関する探究実習では、STEAM教育との関連を図り、科学等の社会的役割を意識しながら進めることができる。

③ 発展的な学習内容が充実しており、科目「地学」の学習と接続できる

発展的な学習内容が多いことに加え、各学習内容（分野）に偏りなく記載されており、理解をより深化させたり、知的好奇心を高めたりすることができる。「地層の広がりとその調べ方」のように本校の課題研究の遂行に必要な内容が扱われていることに加え、科目「地学」の接続を意識した内容も多い。

④ 専門用語の一部が英語で表記されている

本文中に英語による専門用語が記されており、課題研究を行う際に先行研究を読んだり、英語要約を作成したりするときに参考にすることが期待される。

高等学校 教科書選定理由（地学）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
61	啓林館	地学	701	高等学校 地学

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	理科・地学
------	------	-------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程、生徒実態、科学的に探究する資質・能力の育成に鑑み、次の理由により本書を適当と判断し採択する。

① 基本的な概念・原理・法則の理解と定着を図ることができる

巻頭に地学を学ぶ意義、地学を学ぶ視点が簡潔に示されており、地球惑星システム科学を学ぶアウトラインを理解することができる。各節の冒頭には「学びの視点」が随所に配置され、学びの見通しをもつことができる。本文は「地学基礎」との関連を図りながら論理的かつ丁寧に記述されており、無理なく地球システム概念を形成することができる。写真・図は鮮明なことに加え、デジタルコンテンツが適切に設定されており、個別最適化を図りながら理解を深める工夫がされている。また、図、写真、データなどが豊富に用意され、図には解説文または「図を check!」を設けて、図の読解を通じた理解が可能である。また、部末の部末問題は、入試問題レベルが想定されており、本校生徒の実態に適している。

② 野外調査を含む探究活動等が充実しており科学的に探究する資質・能力を育成できる

生徒にとって取り組みやすいテーマの探究活動や観察実験、実習が多く設定されている。また、探究活動の流れも明確で、理科の見方・考え方を働かせて科学的に探究する能力を育成する配慮がなされている。特に、野外調査については、紙面上で野外調査のシミュレーションが体験でき、課題研究において野外調査を行う事前学習として大いに参考にすることができる。

③ 学習内容を深める記述や資料が豊富である

他教科や理科の他科目と関連するトピック、地域資料や日常生活と関連するトピックを多く盛り込み、地学の事物・現象を身近に実感しながらもそれらを科学的に捉え、自然観の涵養につながる工夫がなされている。

④ 専門用語の一部が英語で表記されている

本文中に英語による専門用語が記されており、課題研究を行う際に先行研究を読んだり、英語要約を作成したりするときに参考にすることが期待される。

高等学校 教科書選定理由（保健体育）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
50	大修館	保体	050-902	

新高等保健体育 改訂版

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1・2学年	保健体育
------	--------	------

3. 教科書選定理由

<p>①学習指導要領に示された内容が、バランスよく配当されている。</p> <ul style="list-style-type: none">・生徒の実生活に関連の深い内容であり、自ら健康について考え、判断する力を身につけられる構成となっている。・「身体活動・運動と健康」「食事と健康」「休養・睡眠と健康」とそれぞれ項目立てされ、より詳しく学習できるようになっている。・「性感染症・エイズとその予防」ではH I V感染を含めた性感染症について簡潔によくまとめられており、性に関わる内容についての学習に役立つ。・体育編ではスポーツを文化としてとらえ、さまざまな観点から深く掘り下げて考えることができる内容になっている。また、スポーツを科学的に分析し健康の保持増進に役立て、生涯スポーツについて自らの問題として考えることができる内容になっている。 <p>②学習内容の理解を深めるための工夫が多くなされている。</p> <ul style="list-style-type: none">・各項目に「調べてみよう」「考えてみよう」と題して、学習を深化させる実践課題が提示されており、主体的・対話的で深い学びへ導くことが可能になっている。・「ADVANCE」「コラム」と題して、生徒の視野を広げ、学習の深化をさらに図ることができるよう発展的学習内容や新しい健康問題、今日的话题が示されている。・図表やイラスト教材が豊富で、写真やグラフも最新のデータになっており、高校生の知的好奇心を刺激する内容になっているため学習内容の理解に効果的である。・「心肺蘇生法」実習がA E Dの使用を含めた内容になっており、「付録」でA E Dの使い方や救急車の呼び方について具体的に詳しく説明されている。・「がんの予防と回復」や「精神疾患と特徴」「精神疾患への対応」など今日の私たちの生活をとりまく健康課題がタイムリーにとりあげられている。 <p>以上の点を含め、総合的に判断して採択した。</p>
--

高等学校 教科書選定理由（音楽Ⅰ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
50	大修館	音Ⅰ	050-901	音楽Ⅰ 改訂版 Tutti+

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	芸術・音楽Ⅰ
------	------	--------

3. 教科書選定理由

- ・表紙は親しみやすい活動風景の実写で、思わず開きたくなる魅力がある。
- ・参考資料が充実しており、表現活動・鑑賞それぞれに使いやすく工夫されている。
- ・歌/アンサンブル/知識/創作などカテゴリー分けされた教材の配列であり、授業で扱いやすい。
- ・これまで大修館さんの教科書を採択していたため、扱い慣れている。
- ・日本の伝統音楽と世界の民族音楽についての資料がふんだんに盛り込まれており、参考資料も写真が多く視覚的にもイメージし易いように工夫されており、とてもまとまっている。
- ・各教材から、関連した項目への関連性がわかりやすく配列されている。
- ・古今東西の名曲解説が充実しており、鑑賞にも結び付けやすい。鑑賞に絞って考えてみても、高校生に相応しく一歩深く音楽に踏み込んだ切り口が感じられ、高水準の授業が実践できる。
- ・西洋音楽史が比較的わかり易くまとまっており、音楽系進路希望者のための学習にも活用しやすい。
- ・西洋音楽にとどまらず、日本やアジア、ワールドワイドな視点を育むという拘りが感じられる教科書である。

以上のような様々な利点から、芸術Ⅰ音楽について本教科書を採択したいと考えている。

高等学校 教科書選定理由（音楽Ⅱ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
50	大修館	音Ⅱ	701	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	芸術・音楽Ⅱ
------	------	--------

3. 教科書選定理由

- ・表紙は親しみやすい活動風景の実写で、思わず開きたくなる魅力がある。
- ・参考資料が充実しており、表現活動・鑑賞それぞれに使いやすく工夫されている。
- ・歌/アンサンブル/知識/創作などカテゴライズされた教材の配列であり、授業で扱いやすい。
- ・これまで大修館さんの教科書を採択していたため、扱い慣れている。
- ・日本の伝統音楽と世界の民族音楽についての資料がふんだんに盛り込まれており、参考資料も写真が多く視覚的にもイメージし易いように工夫されており、とてもまとまっている。
- ・各教材から、関連した項目への関連性がわかりやすく配列されている。
- ・古今東西の名曲解説が充実しており、鑑賞にも結び付けやすい。鑑賞に絞って考えてみても、高校生に相応しく一歩深く音楽に踏み込んだ切り口が感じられ、高水準の授業が実践できる。
- ・西洋音楽史が比較的わかり易くまとまっており、音楽系進路希望者のための学習にも活用しやすい。
- ・西洋音楽にとどまらず、日本やアジア、ワールドワイドな視点を育むという拘りが感じられる教科書である。
- ・学習内容が総合的かつ機能的に網羅されており、音楽系進路希望者に対する進路保障にも有益である。

以上のような様々な利点から、芸術Ⅱ音楽について本教科書を採択したいと考えている。

高等学校 教科書選定理由（美術Ⅰ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
116	日文	美Ⅰ	116-901	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第 1・2 学年	芸術・美術Ⅰ
------	----------	--------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程，生徒実態等に鑑み，次の理由により本書を選定した。

① 題材・技法・美術史の関連が理解しやすい。

掲載されてる作品や項目の多くに「リンクマーク」として関連ページが示されている。このシステムは現行本でも使われており，相互に行き来ができ，情報収集がしやすく全体像の把握を容易にするものである。このシステムを活用することにより，この教科書だけで対象項目の理解を深めることができ，発展的な探究活動の姿勢を育むことになり，アクティブラーニングが期待できる。

② 各題材ごとに学習のねらいが三つの観点で示されている。

学習指導要領の目標と内容が三つの柱で整理されたことを踏まえて，全題材で学びの目標が三つの観点で示されている。生徒が学習の目的を明確に理解できるような構成になっている。

③ 我が国の伝統文化が多角的な視点で扱われている。

絵巻，屏風絵，浮世絵，和の空間，仏像などが，多角的な視点から複数掲載されており，我が国の伝統文化への理解が深まる工夫がされている。

④ 生徒作品が豊富である。

表現に関する各題材でいくつかの生徒作品例が掲示されており，生徒が身近に感じられる工夫がなされている。

⑤ 資料ページも簡潔にまとめられている。

技法や色彩など簡潔にまとめられており充実している。錯視関係のページにはフィルムシートが使われており，従来の印刷物では理解できなかった錯視の不思議さを理解しやすい。

美術史の分量も格段に多く，各年代の美術史について，関連する作品と解説が並列してまとめられている。

高等学校 教科書選定理由（美術Ⅱ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
116	日文	美Ⅱ	702	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	芸術・美術Ⅱ
------	------	--------

3. 教科書選定理由

本校の教育目標・教育課程，生徒実態等に鑑み，次の理由により本書を選定した。

① 生徒の身近にあるものをテーマにした作品や漫画，絵本，アニメーション，トリックアートなどが親しみやすく取り上げられている。

絵画では様々な表現技法に触れ，主題の探求についても具体例が示されており表現や鑑賞を深めるヒントが充実している。彫刻では人物・動物・抽象的な形態など，偏りが無い題材が取り上げられているだけでなく，彫刻を考える上で，建物と一体となっているものや環境造形としてのインスタレーションなど，幅広く取り上げている。デザインでは，スマートフォンや部活動紹介チラシを取り上げるなど高校生にとっても身近に感じやすい。そのほかユニバーサルデザインなど幅広く紹介している。映像メディア表現については，写真，アニメーション，映像作品がバランスよく取り上げられている。

② 巻末の「技法」では，制作過程や図などを示したり，用具・材料との関わりを紹介するなど高校生が表現を理解する際の手がかりを充実させている。また，「色彩」のトーン分類図のページは，本の外側に広げられるようにして，どの題材でも参照できる工夫がされている。鈴木其一の「夏秋溪流図屏風」は見開きワイド版で実際に折り曲げて机の上に立てることによって屏風絵を実感できるように工夫されている。さらに，その折り目を利用して裏ページでは尾形光琳の「紅白梅図屏風」も屏風として鑑賞することができる。

③ 全体的に高校生の生活実態に即した視点で教材が設定されており，その主題を主体的に追求することで，「美術Ⅰ」の学習の上に立ち，より深い内容が理解できるように工夫されている。また，巻末の「美術資料」も時代や文化など幅広い観点から理解できるようにまとめられていて使いやすい。

高等学校 教科書選定理由（書道Ⅰ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
38	光村	書Ⅰ	038-901	書Ⅰ

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	芸術科・書道Ⅰ
------	------	---------

3. 教科書選定理由

本校では、生徒が書の美しさに親しみ、主体的に表現・鑑賞の学習に取り組むことができる教材であるかを軸に検討した。生徒の学習意欲を高め、基礎から見通しをもって学べる構成となっている本教科書を採択することとした。

本教科書は、中学校国語科書写との円滑な接続を図るため、導入部分に「芸術科書道スタートガイド」が設置されており、芸術科書道の初学者である1年生が書写との違いを理解し、書道学習に取り組んでいけるよう配慮されている。

「漢字の書」では、唐の四大家の楷書や王羲之の行書を中心に、鑑賞と臨書を通して字形や用筆の基礎・基本をしっかりと学べる構成となっている。字形や用筆のポイントとなる特徴的な部分を視覚的に取り上げ、生徒が自ら比較・分析しながら理解を深めることができる。

さらに、楷書では造像記や摩崖の書、行書では「風信帖」や三筆・三蹟の書などを豊富な図版と共に紹介しており、書風の多様性や背景にある文化・歴史への理解も深めることができる。特に三筆・三蹟を取り上げていることで、和様の書や仮名の成立といった書道の歴史的背景を学ぶことができる点は高く評価できる。

教材は「漢字の書」「仮名の書」で基礎・基本を学び、それらをもとに「漢字仮名交じりの書」で表現へつなげる流れで構成されており、系統的かつ段階的な学習が可能となっている。

「漢字仮名交じりの書」では、「生きた『言葉』を書く」「好きな言葉を書こう」など、生徒の言葉への感性に働きかける活動を通して、自己の思いや考えを表現できるよう工夫されている。表現と鑑賞の学習活動が相互に関連し、知識・技能を生かした創作活動へと発展させる構成は、指導要領の趣旨に合致している。

また、生徒の興味・関心を広げる工夫として、日本の書文化が世界でどのように紹介されているかを扱う「SHO」というコーナーが設けられており、書の伝統や文化に対する理解を高め、視野を広げる内容となっている。

以上の理由により、本教科書は、生徒が主体的に学び、書を通して表現力や感性を育むことができる教材として適切であると判断し、採択することとした。

高等学校 教科書選定理由（書道Ⅱ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
38	光村	書Ⅱ	704	書Ⅱ

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	芸術科・書道Ⅱ
------	------	---------

3. 教科書選定理由

本校では、「表現」と「鑑賞」の学習活動を相互に関連づけながら、生徒が書の美しさに親しみ、主体的に学習へ取り組める教材であるかどうかを検討した。その結果、光村図書「書道Ⅱ」は、生徒の学習意欲を高める上で有効な教材であると判断した。

本教材には、漢字の書 23 点、仮名の書 8 点が収録されており、他社と大きな差はないものの、時代や書風の多様性に配慮し、古典や古筆・名筆が厳選されている点が特徴的である。図版も大きく掲載されており、比較・鑑賞がしやすく、解説文が図版の近くに配置されていることで、生徒が視覚的に理解しやすい構成となっている。

「漢字の書」では、篆書・隸書・草書など、初めて重点的に学習する書体について、臨書例や基本点画の運筆のポイントが丁寧に示され、書体ごとの特徴や用筆・技法の基礎が分かりやすく解説されている。

「仮名の書」では、表現技法・紙面構成・用具・用材の 3 つのテーマに基づき、段階的な学習が可能な教材構成がなされている。また、「漢字仮名交じりの書」では、生徒が自らの感興や古典の書法を基に、字形・線質・用筆・用具・紙面構成などを工夫し、創造的な表現活動へとつなげられるよう配慮されている。

さらに、各所に設けられたコラムでは、生徒に馴染みのある文学作品の直筆原稿を紹介するなど、書の伝統や文化に対する理解を深めるとともに、他教科との関連も図れるよう多角的な話題が提示されている。

「書の特色と歴史」の単元においては、「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」で取り上げられた古典・名筆を参照しながら、書の特質と歴史的変遷について理解が深まるよう工夫されている。

以上の点から、光村図書「書道Ⅱ」は、表現と鑑賞の相互の関連を重視し、書の美への理解を深めるとともに、生徒が主体的に書に取り組む力を育む教材として適切であると判断し、採択することとした。

高等学校 教科書選定理由（英語コミュニケーションⅠ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
61	啓林館	C I	061-901	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	外国語・英語コミュニケーションⅠ
------	------	------------------

3. 教科書選定理由

学習指導要領の企図する目標を達成するのに適切な配慮がなされているか、および、扱われている題材や英文の適切さを考慮して、次の3つを、本校で用いるのに適当であると判断した。

(1) ELEMENT (啓林館)、 (2) CREATIVE (第一学習社)、 (3) Enrich Learning (東京書籍)

そのうえで、さらに構成や内容を精査し、総合的に判断した結果、(1) ELEMENT を使用することに決定した。判断の根拠となった ELEMENT の特徴の概略は以下のとおりである。

1. 扱われている英語の適切さ

生徒の既習知識に配慮した文章が、様々な表現を用いて書かれており、情報構成においては事実と意見を分けて書かれていることから、多様な言語材料の学習に加えて、情報構成の学習にも効果的に活用することができる。

2. 研究・指導に用いる際の汎用性

読むことを中心に、その他の領域を育成するタスクもあり、統合的な指導を十分に可能にする配慮がみられる。また、読むことの指導を効果的に行うにあたり、背景知識の活性化を促すようなリスニングタスクが設定されており、段階的な指導を可能にする配慮が見られる。

3. 教育実習指導の充実に向けた適切さ

課の中心となる本文に加えて、Listening や Speaking、Writing に関わる活動が設定されており、5 領域を統合的に用いるための工夫がなされている。また、Retelling という活動を最終活動に行うことを前提としたデザインになっているため、教育実習においてバックワードデザインによる授業構成を指導しやすい構成となっている。

高等学校 教科書選定理由（英語コミュニケーションⅡ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
61	啓林館	CⅡ	712	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	外国語・英語コミュニケーションⅡ
------	------	------------------

3. 教科書選定理由

扱われている題材や英文難易度の適切性、教科教育研究・授業や教育実習に向けて、教材として指導に用いる際の汎用性を考慮して3候補（第一学習社 CREATIVE、啓林館 ELEMENT、三省堂 CROWN）に絞り、その中から ELEMENT に決定した。

1. 題材・英文の適切さ

題材は多岐にわたっており、自然科学・人文科学・社会科学に対する視野を広げ、洞察を深めることができる。一つ一つの文章が一定の専門性を伴って書かれており、本校の生徒の知的好奇心を刺激する、適切な難易度で書かれている。本課の数も適切であり、課末に新出語句について英語での定義も掲載されている。また、知的な気付きを促すことのできる題材が使われており、様々な解釈を促すことができる。

2. 研究・指導に用いる際の汎用性

全ての課が見開き1～2ページに統一されており、英文に集中して読み進めることができるように構成されている。また、1つの課の中でのPart分けが行われていないため、1時間内で扱う分量を指導者の裁量で決めやすい。文章の情報構造の特徴などについても、筆者の主張及びそれを支える根拠が明確な、基本的な英語のものを用いているものに加えて、修辭的、文学的な表現技法を盛り込んだ、特殊なものも扱われており、多様な指導に用いることが出来る。

3. 教育実習指導の充実に向けた適切さ

課の中心となる本文に加えて、Listening や Speaking、Writing に関わる活動が設定されており、5領域を統合的に用いるための工夫がなされている。また、Retelling という活動を各課の最後に行うことを前提としたデザインになっているため、教育実習においてバックワードデザインによる授業構成を指導しやすい構成となっている。

高等学校 教科書選定理由（英語コミュニケーションⅢ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
61	啓林館	CⅢ	710	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	外国語・英語コミュニケーションⅢ
------	------	------------------

3. 教科書選定理由

扱われている題材や英文難易度の適切性、教科教育研究・授業や教育実習に向けて、教材として指導に用いる際の汎用性を考慮して3候補（第一学習者 CREATIVE、啓林館 ELEMENT、三省堂 CROWN）に絞り、その中から ELEMENT に決定した。

1. 題材・英文の適切さ

題材は多岐にわたっており、自然科学・人文科学・社会科学に対する視野を広げ、洞察を深めることができる。また、全体を4つの Unit で構成し、説明文、エッセイ、物語など異なるテキストタイプの英文を扱っているため、さまざまな読み方を想定した展開が可能である。英文のレベルについても、段階に応じた適切な難易度で書かれており、無理なく進んでいくことができる。本課の数も適切であり、課末に進出語句について英語での定義も掲載されている。また、教養的な気付きを促すことのできる題材が使われており、様々な解釈を促すことができる。

2. 研究・指導に用いる際の汎用性

全ての課が見開き1~2ページに統一されており、英文に集中して読み進めることができるように構成されている。また、1つの課の中での Part 分けが行われていないため、1時間内で扱う分量を指導者の裁量で決めやすい。文章の情報構造の特徴などについても、筆者の主張及びそれを支える根拠が明確な、基本的な英語のものを用いているものに加えて、修辭的、文学的な表現技法を盛り込んだ、特殊なものも扱われており、多様な指導に用いることができる。

3. 教育実習指導の充実に向けた適切さ

課の中心となる本文に加えて、Listening や Speaking、Writing に関わる活動が設定されており、5領域を統合的に用いるための工夫がなされている。また、Retelling という活動を最終活動に行うことを前提としたデザインになっているため、教育実習においてバックワードデザインによる授業構成を指導しやすい構成となっている。

高等学校 教科書選定理由（論理・表現Ⅰ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
212	桐原	論Ⅰ	212-901	FACTBOOK English Logic and Expression I New Edition

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	外国語 論理・表現Ⅰ
------	------	------------

3. 教科書選定理由

学習指導要領の企図する目標を達成するのに適切な配慮がなされているか、モデルとして提示されている英文の適切さ、および言語材料と言語活動の関連やバランスを考慮して、次の3つを、本校で用いるのに適当であると判断した。

(1) FACTBOOK (桐原書店)、(2) Vision Quest (啓林館)、(3) Genius (大修館)

そのうえで、さらに構成や内容を精査し、総合的に判断した結果、(1) FACTBOOK を使用することに決定した。判断の根拠となった FACTBOOK の特徴の概略は以下のとおりである。

1. 扱われている英語の適切さ

選ばれている例文が、指導事項が明確となるようなものとなるような配慮が見られる。また、言語材料のドリルも豊富に掲載されており、言語材料の正確さを育成する上で適切であると考えられる。

2. 研究・指導に用いる際の汎用性

トピックが身近なものから社会的なものまで幅広くカバーされており、教育研究の多様さに耐えうる内容となっている。また、SDGs の項目が示されており、社会的な課題に対する問題意識を高めることのできる題材選定となっている。

3. 教育実習指導の充実に向けた適切さ

タスクが豊富に設定されているため、単元目標に応じたタスクの選定という、指導計画の立案における基本的な指導力の育成に効果的に用いることができる。

高等学校 教科書選定理由（論理・表現Ⅱ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
50	大修館	論Ⅱ	707	

GENIUS English Logic and Expression Ⅱ

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	外国語 論理・表現Ⅱ
------	------	------------

3. 教科書選定理由

扱われている英語の適切性、教科教育研究・授業や教育実習に向けて、教材として指導に用いる際の汎用性を考慮して3候補（大修館 **Genius**、三省堂 **CROWN**、啓林館 **Vision Quest**）に絞り、その中から **Genius** に決定した。

1. 扱われている英語の適切さ

個別の英語表現の正確さといったミクロな視点よりも、文章構成や情報の順序、事実と意見に区別といったマクロな視点からの英語の正しさに焦点を当てている活動が設定されており、高校2年生という発達段階（一定の語彙数を持ち、文法についても学習を終えている）に適した内容となっている。

2. 研究・指導に用いる際の汎用性

論理・表現において主に育成が求められている3領域（書くこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]）の育成を中心に据えた課がバランスよく並べられており、また、それぞれの課に聞くこと、読むことに関わるタスクが用いられているため、領域を統合した指導や教科教育研究が行いやすい構成になっている。

3. 教育実習指導の充実に向けた適切さ

教科書の冒頭に論理・表現において主に育成が求められている3領域（書くこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]）での学習目標が掲載されており、カリキュラムマネジメントの視点を持ちながら、指導計画を考えやすい構成になっている。

また書くことに関わる活動では、指導の手順が明示されており、書くことの指導計画を立案しやすい構成になっている。

高等学校 教科書選定理由（論理・表現Ⅲ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
50	大修館	論Ⅲ	705	

Genius English Logic and Expression Ⅲ

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第3学年	外国語 論理・表現Ⅲ
------	------	------------

3. 教科書選定理由

扱われている英語の適切性、教科教育研究・授業や教育実習に向けて、教材として指導に用いる際の汎用性を考慮して3候補（大修館 **Genius**、三省堂 **CROWN**、啓林館 **Vision Quest**）に絞り、その中から **Genius** に決定した。

1. 扱われている英語の適切さ

個別の英語表現の正確さといったミクロな視点よりも、文章構成や情報の順序、事実と意見に区別といったマクロな視点からの英語の正しさに焦点を当てている活動が設定されており、高校3年生という発達段階（一定の語彙数を持ち、文法についても学習を終えている）に適した内容となっている。

2. 研究・指導に用いる際の汎用性

論理・表現において主に育成が求められている3領域（書くこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]）の育成を中心に据えた課がバランスよく並べられており、また、それぞれの課に聞くこと、読むことに関わるタスクが用いられているため、領域を統合した指導や教科教育研究が行いやすい構成になっている。

3. 教育実習指導の充実に向けた適切さ

教科書の冒頭に論理・表現において主に育成が求められている3領域（書くこと、話すこと[やり取り]、話すこと[発表]）での学習目標が掲載されており、カリキュラムマネジメントの視点を持ちながら、指導計画を考えやすい構成になっている。

また書くことに関わる活動では、指導の手順が明示されており、書くことの指導計画を立案しやすい構成になっている。

高等学校 教科書選定理由（家庭基礎）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
183	第一	家基	183-901	高等学校 改訂版 家庭基礎 持続可能な未来をつくる

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第1学年	家庭・家庭基礎
------	------	---------

3. 教科書選定理由

以下の点において適当と判断し、本教科書に採択する。

- ①学習指導要領に示された内容が偏りなく扱われているとともに、「持続可能」という視点を重点的に取り扱う、コンセプトが明確な教科書となっている。また、生徒の学びやすさを追求し、未来につながる技術や、これからの可能性を考える話題提供がある点も、「持続可能な未来をつくる」ためへの思考を促すのに効果的である。
- ②生徒の学習意欲を高め、学習内容の理解を深める工夫として、課題意識をもって学習できる構成（1つのテーマ見開き2ページ等）であり、巻末には食品成分表や食事バランスガイド、暮らしとかかわる法律、減災・防災ハンドブック等があることで、学習内容の理解に効果的である。また、主体的に取り組むことができる学びあい・話し合いのテーマとして、随所に「TRY」が設けられており、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がされている。
- ③教科書の機能を高める細かな仕掛けとして、本文の説明が具体化・可視化できるよう紙面が有効に活用されており、二次元コードから関連するサイトや動画に簡単にアクセスできることで、学習への関心を高めるとともに幅広い知識・技能が習得できる。また、栄養価やアレルギー対応としての食材のアレンジ例等も確認することができ、実態に合わせた指導ができる点も工夫がなされている。
- ④分野を横断して効率よく学習を進めていくための「CROSS CURRICULUM」を取り入れている点や、他教科の関連する内容とのつながりを意識できるよう「他教科とのつながり」が示されている点において、工夫がなされている。また、生徒のキャリア形成「職業とのつながり」が取り入れられており、未来をつくる上で参考となる紹介がなされている。

高等学校 教科書選定理由（情報Ⅰ）

1. 選定する教科書

発行者		教科書		教科書名（シリーズ）
番号	略称	記号	番号	
7	実教	情Ⅰ	007-901	

2. 教科書を使用する学年，教科・科目

高等学校	第2学年	情報・情報Ⅰ
------	------	--------

3. 教科書選定理由

新学習指導要領において、「情報活用能力」を「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ること、小・中・高等学校を通じてプログラミング教育を充実させることになった。

高等学校では、全ての生徒が必ず履修する科目(共通必履修科目)「情報Ⅰ」が新設され、全ての生徒がプログラミングのほか、ネットワーク(情報セキュリティを含む)やデータベースの基礎等について学ぶ。これからの社会を生きるために必要な情報活用能力の育成を目指し、主体的・対話的で深い学びを実現できることを重視している。「情報Ⅰ」の学習は「問題の発見・解決を行う学習活動」がベースにある。

採択の候補となる6社の教科書について検討したが、いずれも生徒の興味・関心を喚起するとともに主体的に学ぼうとする学習活動を工夫して取り入れられていた。

本校の教育目標や生徒実態に照らして検討し、次の理由から総合的に判断した結果、本書を採択する。実教出版の「高校情報Ⅰ Python」を選んだ理由は大きく次の3点である。

1. 生徒の興味・関心を喚起し、学習意欲を向上させる工夫がある

生徒が読んで理解できる平易な表現と無理なく知識・技能を習得できるよう工夫されていることから、生徒の興味・関心を喚起し、主体的・対話的で深い学びにつながる。

2. 生徒の探究心に応える豊富な実習題材がある

最新の情報通信技術が扱われており、社会でどのように役立てられるのか、そのつながりを理解することができる。また、Pythonを扱った豊富な実習題材と資料により基礎技能習得、プログラム構造の理解がサポートされるよう配慮されている。

3. 情報モラルの充実

学習活動を通して、情報社会を生きていくための基本的なルールやマナーの在り方を考えることができるよう工夫されている。